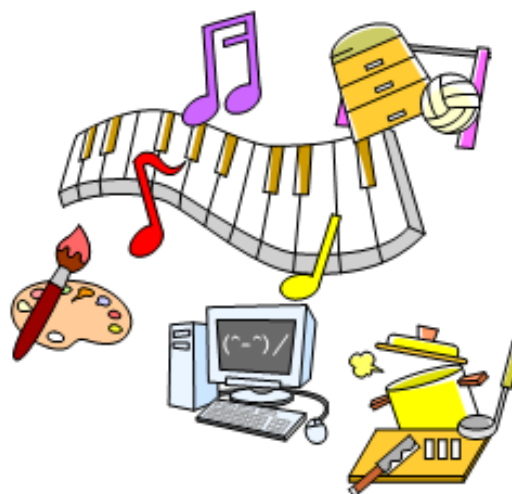
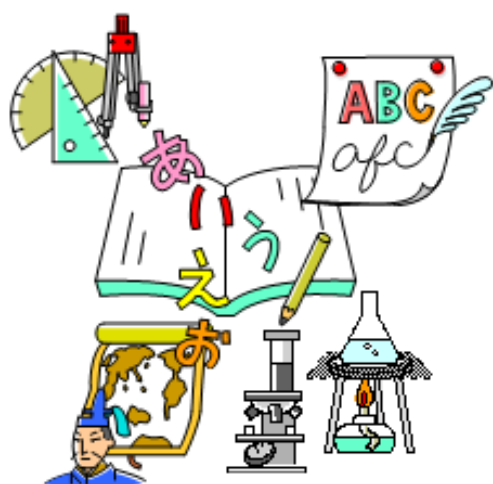


令和8年度
鈴鹿市立天栄中学校

3年生

シラバス



3年	組	席	名前
----	---	---	----

シラバスとは

授業は、各教科の年間計画に基づいて実施されています。年間計画は、文部科学省が規定する学習指導要領に基づいており、時には、教科書とは違う内容を学習することもあります。この年間計画を事前に伝え、自主的に学習できるように、シラバスを配付しています。

シラバスの中には、授業の年間計画のほか、評価の観点、授業の受け方、各教科の単元内容とその単元のねらいなどが書かれています。このシラバスを活用して、計画的に学習する習慣をつけてください。

よくわかる授業の受け方
◎授業の内容をよく理解するためには、準備が必要です。 ①チャイムが鳴ったらすぐ席に着き、授業の準備をする ②授業に必要なものは、机の上に出し、すぐに使えるようにする ③忘れ物をしない ④宿題は必ずやる ⑤予習・復習をする習慣をつける
◎積極的に授業に参加しましょう。 ①手を挙げて、自分の意見を発表する ②活動や実験・実習には、積極的に取り組む ③ノートはきちんととる ④授業での「めあて」を意識して授業を受け、授業の終わりには必ず「振り返り」をする

よくわかる授業の受け方
①授業の内容を理解するのに、家庭での学習を欠かすことはできません。必ず、家庭学習の時間を 作ってください。最初は面倒でも、続けていけば習慣になります。
②宿題は必ずやりましょう。宿題は、その日に習ったことの復習や、次の授業に必要な準備です。宿題をしていないと、次の授業に差し支えるので、取り組む習慣をつけましょう。
③予習では、自分でできることに取り組みます。語句や単語の意味を調べたり、本文をノートに写したりするとよいでしょう。
④暗記が必要な科目では、復習が有効です。今日習ったことは今日のうちに復習しておきましょう。また、授業中にとったノートはそのままにせず、自分なりにまとめ直してみると、内容が整理できて、理解が深まります。
～家庭学習は、自分のペースで行えます。計画を立てて、実行してください～

	1年	2年	3年
国語	140	140	105
社会	105	105	140
数学	140	105	140
理科	105	140	140
音楽	45	35	35
美術	45	35	35
保健体育	105	105	105
技術・家庭	70	70	35
英語	140	140	140
道徳	35	35	35
特別活動	35	35	35
総合	50	70	70
合計	1015	1015	1015

中間テスト	5月21日木	5月22日金	
期末テスト	6月17日水	6月18日木	6月19日金
中間テスト	9月24日木	9月25日金	
期末テスト	11月25日水	11月26日木	11月27日金
学年末テスト3年	1月12日火	1月13日水	1月14日木
学年末テスト1・2年	2月24日水	2月25日木	2月26日金

教科名	学年	週時間数
国語	3	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	国語3（光村図書） 中学書写 一・二・三年（光村図書）		
副教材	学習漢字ノート3（浜島書店） すらすら基本文法（浜島書店）	国語スイッチ3（正進社） 新・国語の便覧（正進社）	学習の達成国語3年（新学社）

指導の重点	言葉による見方・考え方 表現力 知識技能
教科のねらい	・授業に積極的に取り組み、国語を意欲的に学ぶことができる。 ・目的や場面に応じて話したり、話し手の表現の仕方に注意して聞くことができる。 ・様々な文章を読み、目的や意図に応じて読み取る能力を育てる。 ・国語の基礎的な事項や知識を身につける。 ・目的や意図に応じ、論理の展開を工夫して書くことができる。 ・目的や相手に応じて話せるとともに、話したり聞いたりして考えを深めることができる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	言語について正しい知識を持ち、適切に使うことができる。 漢字練習や意味調べを通して語彙を増やすことができる。	・授業観察 ・小テスト ・定期テスト
観点② 思考・判断・表現	みんなに聞こえる声で正確に読むことができる。自分の考えや気持ちを発表することができる。友だちの意見を的確に聞きとることができる。 丁寧で、読みやすい文章を書くことができる。意図や趣旨、自分の気持ち等をまとめて書くことができる。 文章の要旨をとらえ、自分の意見を持つことができる。	・授業観察 ・朗読 ・話し合いや発表での話し方、聞き方 ・話す・聞くテスト ・定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	授業の約束事を守り、宿題・ノート整理等ができる。思ったことや感じたことを発表できる。 自らの学習を振り返り、今後の学習に生かすことができる。	・授業観察 ・ノート ・小テスト ・振り返りシート

授業の受け方	・持ち物や宿題を忘れないようにする。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えは挙手してはっきりと言えるようにする。 ・後で見た時に分かりやすいノートを作る。 ・自らの学習を振り返り、今後の学習に生かす。
--------	--

3年	国語
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	- 世界はうつくしいと握手 - 漢字に親しもう - 意見を聞き、適切さを判断する - 文法への扉1「走って」いるのは誰？	- 詩の特徴を生かして朗読する。 - 登場人物の考え方や生き方を読み取り、自分の考えを伝える。 - 新出漢字を学ぶ。 - スピーチをよりよくするための助言を考える。 - 文法の知識を生かした推敲や読解のポイントを使って問題に取り組む。	- 語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 - 作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深める。 - 新出漢字を学び、語彙を広げることができる。 - 目的や場面に応じて、伝え合う内容を検討することができる。 - 文の構成について理解することができる。
	5	- 説得力のある構成を考えよう - 言葉1 相手や場に応じた言葉遣い - 字びて時に之を習ふ - 作られた「物語」を超えて	- 話の構成を考え、スピーチを行う。 - 相手や場に応じた言葉遣いについて理解する。 「論語」の中から生活に生かしていきたい言葉を選んで伝え合う。 - 論理の展開を捉え、筆者の主張について考えたことをまとめる。	- 自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫することができる。 - 適切な表現の選び方を考えることができる。 - 人間の生き方についての孔子の考え方を、自分たちを関連づけて考えることができる。 - 論説の特性を踏まえて読み、論理の展開のしかたを捉えることができる。
	6	- 思考のレッスン 具体化・抽象化 - 論理の展開を意識して書く - 漢字1 熟語の読み方 - 漢字に親しもう2 - 俳句の可能性 - 言葉の釣り糸を垂らす - 言葉2 和語・漢語・外来語 - 語彙を豊かに	- 教材文から、具体化と抽象化の程度について理解する。 - 表現を工夫して、小論文を書く。 - 熟語の読み方について理解する。 - 新出漢字を学ぶ。 - 俳句を選び、表現のしかたを評価して、鑑賞文を書く。 - 筆者の語彙や表現に着目し、筆者のものの見方や考え方について考える。 - 和語・漢語・外来語を学ぶ。	- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めることができる。 - 説得力のある文章にするために、文章の構成を工夫することができる。 - 漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせについて理解を深めることができる。 - 新出漢字を学び、語彙を広げることができる。 - 作者の表現意図を捉え、表現のしかたを評価することができる。 - 文章に表れたものの見方や考え方について考えることができる。 - 和語・漢語・外来語や言葉の変化について理解し、使い分けることができる。
	7	- 実用的な文章を読もう - 報道文を比較して読もう - 情報整理のレッスン 情報の信頼性 - 読書を楽しむ 「私の一冊」を探しにいこう	- 教材文を読み、問題に取り組む。 - 問題に取り組む、情報の信頼性の確かめ方について、大切にしたいことを挙げる。 - さまざまな読書の楽しみ方を知り、実際に行う。	- 文章の特徴を踏まえ、目的に応じて情報を読み取っている。 - 情報の信頼性の確かめ方を理解し使うことができる。 - 読書活動を通して、読書の楽しさや意義を発見できる。
2	9	- 挨拶 - 故郷 「推敲」論理の展開を整える - 慣用語・ことわざ・故事成語	- 表現に着目して読み、社会について考えたことを伝え合う。 - 登場人物の考え方や行動を批判的に読み、作品を批評する。 - 目的や読み手に応じて、意見文を推敲する。 - 語句の意味を調べたり、語句を用いて短文を作ったりする。	- 表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深めることができる。 - 作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考えることができる。 - 目的や意図に応じた表現になっているかを確認めて、文章を推敲できる。 - 短文を作ったり、語句の意味や使い方を調べたりできる。
	10	- 聞き上手になろう - 漢字2 漢字の造語力 - 複数の意見を読んで、考えよう - 考えを効果的に伝えよう - 漢字に親しもう3 - 初恋	- 対談を行う。 - 漢字の造語力について学び、練習問題を解く。 - 論説の比較を素に討論し、自分の考えをまとめる。 - 批評文を書く。 - 新出漢字を学ぶ。 - 言葉の響きやリズムを味わいながら聴き、情景や心情についてまとめる。	- 話の展開を予測しながら聞き、対談の中で話を豊かに展開させた応答は、どのようなものか捉えることができる。 - 漢字の造語力を意識し、漢字を読んだり書いたりしている。 - 文章を批判的に読み、論理の展開や表現のしかたを評価する。 - 情報と情報との関係に関する知識を生かして論理の展開を考えることができる。 - 新出漢字を学び、語彙を広げることができる。 - 詩に描かれた情景や心情を想像することができる。
	11	- 和歌の世界 - 古今和歌集 仮名序 - 君待つと - 和歌の表現技法 - 夏草 - 俳句と俳諧 - つながる古典 - 古典名作選 - それでも、言葉を	- 和歌の世界に親しみ、表現のしかたについて評価する。 - 作者のものの見方や感じ方を捉え、心に響く俳句を発表する。 - 文章を読み、言葉との向き合い方について自分の意見をもつ。	- 和歌に詠まれた情景や心情を読み取り、表現のしかたを評価することができる。 - 作者のものの見方や感じ方について考えることができる。 - 筆者の見方・考え方を踏まえ、言葉について自分の意見をもつことができる。
	12	- 漢字3 漢字のまとめ - 漢字に親しもう4 「話し合い（進行）」話し合いを効果的に進めよう - 合意形成に向けて話し合おう - 本は世界への扉	- 中学校三年間で学習した漢字の知識を復習する。 - 新出漢字を学ぶ。 - 進行役の最後の発言に続く形で、意見を整理する。 - 議題に対して合意形成を図るため、話し合いを行う。 - 読んでみたい本や読書の意義について交流する。	- 三年間で学習した漢字の内容を理解できる。 - 新出漢字を学び、語彙を広げることができる。 - 複数の発言の共通点を抽出し、結び付けてまとめることができる。 - 納得できる結論を出すため、互いの発言を生かすなどして話し合うことができる。 - 読書の意義について考えることができる。

3	1	・ 温かいスープ アラスカとの出会い 律儀な桜 わたしを束ねないで ・ 三年間の歩みを振り返ろう	・ 本文を読み取り、自分の意見をもつ。 ・ 三年間で印象に残っている学習について、冊子にまとめる。	・ 考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもつことができる。 ・ 記事の内容を効果的に伝えるため、紙面と文章の構成を工夫することができる。
	2	・ 初日 ・ 入試対策	・ 描かれた情景や心情を捉え、その内容について話し合う。 ・ 過去の三重県入試問題をやる。	・ 情景や作者の思いを想像しながら、人間、社会、自然などについて考えることができる。 ・ 入試の出題傾向をつかむ。
	3	・ 三年間の文法の総まとめ ・ 入試対策	・ 文法について理解する。 ・ 過去の三重県入試問題をやる。	・ 文法を理解する。 ・ 入試の出題傾向をつかむ。

教科名	学年	週時間数
社会	3	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『新しい社会 歴史』（東京書籍） 『新しい社会 公民』（東京書籍）
副教材	・社会の自主学習歴史2・3(新学社) ・学びつながる歴史(浜島書店) ・学習の達成歴史2・3(新学社) ・公民() ・新しい公民(浜島書店) ・学習の達成公民(新学社)

指導の重点	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	多面的・多角的な見方や考え方ができることを目標に、生徒の「学ぶ意欲」「思考力」を高めることを目指す。また、基礎的な知識を身につけることを通して自国の歴史・文化・国土・制度を理解し、他国の文化が尊重ができる国際人としての自覚を高める。 【表現力の指導】 自分の考えをまとめ、他者にわかりやすく説明する。小グループでの話し合いを通して、自分の考えをさらに深める。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	社会的な事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を正しく身につける。また、各種資料を読み取り、効果的に活用できる技能を身につける。	授業中の取り組み ワークシート・レポートの資料活用 内容 テスト
観点② 思考・判断・表現	社会的な事象から課題を見つけ、相互の関連をいろいろな角度から考え公正に判断する。 仲間の考えや意見を聴いて、自分の考えや意見に取り入れている。 それらをまとめ文章で表現したり発表したりできる。【表現力】	授業中の取り組み ワークシートの考察 振り返りシート レポートのまとめ方 テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	学習内容への関心を持ち、授業や家庭学習において主体的に学習に取り組もうとする。	準備物 授業中の取り組み 振り返りシート ワークシート・レポート等の提出物

授業の受け方	・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして着席しておこう。 ・黒板に書いたことや自分で気づいたことをプリントに工夫してまとめよう。 ・わかったことや自分の考えを積極的に発表しよう。 ・レポート、ワーク等の課題に取り組み、提出期限を守ろう。 ・「つながり」を考えることが大切。つながりを考えるうえで土台となるのは「知識」ですが、「なぜ」（理由）を追求することを目指そう。歴史や公民での、つながりを意識して学習しよう。
--------	---

3年	社会
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	第6章 二度の世界大戦と日本	3節 第一次世界大戦と日本・大正デモクラシー 世界恐慌と日本の中国侵略 4節 第二次世界大戦と日本	・二度の世界大戦はなぜ起こり、世界と日本にどのような影響を与えたのか理解する。 ・世界恐慌の原因について理解するとともに、各国の対応などの違いを考える。 ・戦後の諸改革が日本にどのような影響を与えたのか理解する。
		第7章 現代の日本と私たち	1節 戦後日本の出発	
	5	第7章 現代の日本と私たち	2節 冷戦と日本の発展	・冷戦の中で経済成長を遂げた日本について理解する。
	6	第7章 現代の日本と私たち 【公民的分野】 第1章 現代社会と私たち	3節 新たな時代の日本と世界 1節 現代社会の特色と私たち 2節 私たちの生活と文化	・より良い社会を創るため今後必要なことを考える。 ・現代社会の課題について考える。 ・私たちの生活で、なぜ文化が大切にされるのか考える。
		第1章 現代社会と私たち	3節 現代社会の見方や考え方	・現代社会の課題解決のために、どのような見方や考え方が大切か考える。
	7	第2章 個人の尊重と日本国憲法	1節 人権と日本国憲法	・憲法の大切さを理解する。
		第2章 個人の尊重と日本国憲法	2節 人権と共生社会 3節 これからの人権保障	・日本国憲法では人権を保障していることを理解する。 ・新しい人権が認められてきたのはなぜか考える。
2	10	第3章 現代の民主政治と社会	1節 現代の民主政治 2節 国の政治の仕組み	・民主政治における、政治に参加することの重要性を知る。 ・国の政治において権力分立の必要性を理解する。
		3章 現代の民主政治と社会	3節 地方自治と私たち	・人々の声を政治に生かすために必要なことは何か考える。
	11	4章 私たちの暮らしと経済	1節 消費生活と市場経済 2節 生産と労働	・消費者として自立するということはどういうことか理解する。 ・労働者の権利を保障することの重要性を理解する。
		4章 私たちの暮らしと経済	3節 市場経済の仕組みと金融 4節 財政と国民の福祉 5節 これからの経済と社会	・金融の働きの重要性について理解する。 ・国民の福祉と財政の関係を理解する。 ・経済が私たちの生活にもたらしているものは何か理解する。
	12			
3	1	第5章 地球社会と私たち	1節 国際社会の仕組み	・国際社会で様々な仕組みが生まれたのはなぜか考える。
	2	第5章 地球社会と私たち	2節 さまざまな国際問題 3節 これからの地球社会と日本	・国際社会のさまざまな問題を解決するために、各国の協力が必要であると理解する。 ・持続的な社会を創るために、何ができるのか考える。
	3	3年間の復習	3年間の復習	・入試対策を行う。

教科名	学年	週時間数
数学	3	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	『未来へひろがる 数学3』（啓林館）
副教材	数学の学習（明治図書）

指導の重点	学ぶ意欲 思考力 表現力 処理技能
教科のねらい	・授業に積極的に取り組み、数学に対する興味関心を持つ。 ・課題に対して、自分で考えたり、人の意見を取り入れて、解決に向けて取り組む。 ・基礎基本を確実に身につけ、それを利用して、課題が解決できる。 ・数学的な活動を通して、物事を多面的にとらえる力を身につける。 【表現力の指導】 ・具体的な事象を数学的に表現し、処理をする。 ・途中の式や考え方、理由を説明する。 ・数学的な表現を用いて学び合う場面設定を積極的に導入し、相互に伸びることを目指す。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各単元における基本的な数や式、ことばの意味などを理解する。	・定期テスト・授業観察 ・自分なりに説明したり、自分なりの表現で答えたりすることも評価する。
観点② 思考・判断・表現	解法の手がかりを見つけたり、別な方法から考えたりする。 途中の式や考えを書き、答えを導き出す。【表現力】 具体的な事象を数学的に表現し、処理を行う。【表現力】	・レポート ・定期テスト ・結果だけでなく、途中の式や考え方も評価する。
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	提出物・準備物を忘れず、プリント等を整理し保管する。 授業態度（座る姿勢、私語、取り組み）をきちんとする。 発表する。 ノートを丁寧にとり、途中の計算式も書く。	・定期テスト・授業観察（発言・ノートへの記述など）・提出物（ワークブックなど）

授業の受け方	・授業に集中して取り組む。 ・提出物の期限を守る。 ・人の発表や発言はしっかりと聞く。 ・ノートは見やすく書く。 ・途中の式も書く。 ・グループ活動ではわからないところを互いに教え合う。 ・確実に理解するため、ワークブックや問題プリントでくり返し練習する。
--------	--

3年	数学
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	式の展開と 因数分解	式の展開と因数分解	・単項式と多項式，多項式同士の乗法，除法のやり方を理解する。 ・乗法の公式を用いて，式を展開できる。 ・式を因数分解することができる。 ・自然数を素因数分解することができる。
	5	平方根	式の活用 平方根	・式の展開や因数分解を使って，整数や図形の性質を証明することができる。 ・平方根の意味を理解する。 ・$\sqrt{\quad}$の記号を使って平方根を表現することができる。 ・有理数と無理数の識別ができる。
	6		根号をふくむ式の計算 平方根の利用	・根号のついた数の乗法や除法ができる。 ・根号のついた数の近似値を求めることができる。 ・根号のついた数の加法や減法ができる。 ・根号をふくむ式を計算することができる。
	7	二次方程式	二次方程式 二次方程式の利用	・因数分解を使って，2次方程式を解くことができる。 ・平方根の考えを使って，2次方程式を解くことができる。 ・解の公式を使って，2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式を使って，問題解決の方法を考えることができる。
2	9	関数 $y = ax^2$	関数とグラフ 関数 $y = ax^2$ の値の変化 いろいろな事象と関数	・関数の意味を理解する。 ・関数 $y = ax^2$ で表される関数があることを知り，式表現することができる。 ・関数 $y = ax^2$ のグラフをかくことができる。 ・関数 $y = ax^2$ の変化の割合を求めることができる。 ・関数 $y = ax^2$ において，yの変域を求めることができる。 ・いろいろな関数を活用して，問題解決ができる。
	10	図形と相似	図形と相似	・相似の意味を理解する。 ・相似な図形の性質を理解し，辺の長さを求めることができる。 ・三角形の相似条件を正確にいうことができる。 ・三角形の相似条件を使って，三角形の相似の証明ができる。
	11		平行線と線分の比 相似な図形の計量 相似の利用	・平行線と線分の比から，線分の長さを求めることができる。 ・中点連結定理を理解し，証明にも活用することができる。 ・相似な図形の面積，体積を相似比を使って求めることができる。
	12	円の性質	円周角と中心角 円の性質の利用	・円周角と中心角の関係を知る。 ・円周角の定理を使って，角の大きさを求めることができる。 ・円周角の定理の逆を理解する。 ・円周角の定理を活用し，証明問題を解くことができる。
3	1	三平方の定理	直角三角形の3辺の関係 三平方の定理の利用	・三平方の定理を使って，辺の長さを求めることができる。 ・三平方の定理の逆を理解する。 ・三平方の定理を平面図形や空間図形に活用し，図形問題を解くことができる。
	2	標本調査と データの活用	標本調査	・全数調査と標本調査の違いを知る。 ・標本の取り出し方がわかる。 ・標本から母集団の性質を推測することができる。
	3	3年間のまとめ	受験対策問題	・苦手な単元の復習を行い，受験に備えることができる。 ・高校の数学へつなげるための基本を固めることができる。

教科名	学年	週時間数
理科	3	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	未来へひろがるサイエンス3（啓林館）
副教材	理科の自主学習（新学社）、学習の達成（新学社）、グラフィック理科資料集（新学社）

指導の重点	学びに向かう力・人間性 理科の見方・考え方 表現力
教科のねらい	自然の事物・現象に対する関心を高める。 目的意識を持った実験・観察等を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。 自然の事物・現象についての理解を深める。 科学的な見方や考え方を養う。 【表現力の指導】 話し合い活動や発表を通して、自他の意見や考えを深め、まとめる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	授業で学習した内容を説明することができる。 重要な語句・文章をきちんと書くことができる。 実験・観察等、器具を正しく安全に扱うことができる。	定期テストにおける知識・技能 に関した得点 小テスト レポートの内容評価 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	事物・現象について筋道を立てて説明することができる。 科学的な理論に基づいて、計算で求めることができる。 【表現力】 レポートを分かりやすく丁寧に書きまとめることができる。 自分の考えを人にわかりやすく伝えることができる。 【表現力】	定期テストにおける思考・判 断・表現に関した得点 小テスト レポートの内容評価
観点③ 主体的に学習に 取り組む態度	授業に積極的に参加することができる。 ・学習課題に対して粘り強く取り組むことができる。 ・自らの学習を調整しようと取り組むことができる。 自分の学習をしっかり振り返り、今後の学習に生かすことができる。	行動評価 ノートやレポートの記述 振り返りシート

授業の受け方	授業に積極的に参加しよう。 私語はせずに、指示や発表・発言をしっかり聞き、自分の意見をしっかり発表しよう。 実験・観察においては、器具の扱いや手順をしっかり理解し安全に協力して参加しよう。 黒板に書いたことや自分で気づいたことをノートに工夫してまとめよう。 ノート・レポート・ワーク・プリント等の課題をきちんと仕上げ、期限を守って提出しよう。 自らの学習を振り返り、今後の学習に計画・修正・改善をして生かそう。
--------	---

3年	理科
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	【運動とエネルギー】 1章 力の合成と分解	水圧、浮力 力の合成 力の分解	・水中にある物体にどのような力がはたらくか説明できる。 ・力のつり合い、合成・分解を理解し、作図処理ができる。
	5	2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー	運動の表し方 力と物体の運動 仕事とは何か 道具を使う仕事とエネルギー	・物体に加わる力に対して実験データを適切に処理し、科学的に考察できる。 ・仕事の定義を理解し、計算できる。 ・力学的エネルギーについて説明できる。
	6	4章 多様なエネルギーとその移り変わり 5章 エネルギー資源とその利用 【生命の連続性】 1章 生物のふえ方と成長	エネルギーの移り変わりと熱 電気エネルギーの供給 生物のふえ方と成長	・日常生活において色々なエネルギーの移り変わりを科学的視点で述べられる。 ・様々な発電方法を理解できる。 ・細胞分裂と生殖について説明できる。
	7	2章 遺伝の規則性と遺伝子 3章 生物の種類の多様性と進化	染色体の伝わり方 遺伝の規則性 生物のつながり、進化	・どのように親から子に遺伝子が受け継がれていくか理解できる。 ・生物で共通する点や進化にふれ、どのように変化してきたか知る。
	9	【化学変化とイオン】 1章 水溶液とイオン 2章 電池とイオン	電流が流れる水溶液 イオンとは何か 金属のイオン化傾向 電池のしくみ	・電解質と非電解質の違いが分かる。 ・イオンのでき方を説明できる。 ・電池の原理が説明できる。
2	10	3章 酸・アルカリと塩	酸性とアルカリ性の水溶液 酸・アルカリの正体 酸とアルカリを混ぜる	・酸性・アルカリ性のちがいを知り、酸とアルカリの中和をイオンで説明できる。
	11	【宇宙を観る】 1章 地球から宇宙へ 2章 太陽と恒星の動き	太陽と色々な惑星 太陽系の天体 宇宙の広がり 地球の自転と太陽の動き 季節の変化	・惑星・恒星・衛星のちがいを理解する。 ・太陽系の特徴を説明できる。 ・銀河系、銀河の広がりを知る。 ・太陽・星座の日周運動・年周運動が説明できる。 ・季節の変化の起こり方を説明できる。
	12	3章 月と金星の動きと見え方	地球の自転と星座の動き 地球の公転と星座の動き 月の動きと見え方 惑星の動きと見え方	・太陽系・銀河系の位置的相関関係を知り、地球の位置を理解する。
3	1	【自然と人間】 1章 自然界のつり合い 2章 さまざまな物質の利用と人間 3章 科学技術の発展	生態系におけるはたらき 物質の特徴 科学技術の利用	・各生物が生態系においてどのようなはたらきをして、物質が循環しているか説明できる。 ・日常で用いられている物質の特徴を知る。 ・科学技術の移り変わりを日常生活と関連づけて考えられる。
	2	4章 人間と環境 5章 持続可能な社会をめざして	人間の活動と自然環境 持続可能な社会とは	・私たち人間が自然環境にどのような影響を与えているか理解する。
	3	【3年間の復習】	入試対策問題演習	・中学校3年間の学習を関連づけて振り返ることができる。

教科名	学年	週時間数
音楽	3	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学生の音楽 3
副教材	「Joyful Songs」(新学社) 「音楽のハーモニー」(正進社)

指導の重点	「学ぶ意欲」「表現力」
教科のねらい	・授業で扱う内容について、興味関心をもって取り組める。 ・大きな声で表現することができる。 ・曲想にあった表現ができる。 ・仲間とともに音楽を表現できる。 ・様々な音楽文化に関心を持ち鑑賞できる。 【表現力の指導】 ・歌うことを通して自分を表現する力をつける。 ・歌うことを通して音楽を表現する力をつける。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・音楽表現をするために必要な基本的な知識・技能を身につけている。	・定期テスト ・実技テスト ・授業観察
観点② 思考・判断・表現	・音楽を形づくっている要素を楽譜から読み取り、音楽活動に生かすことができる。 ・音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	・定期テスト ・実技テスト ・鑑賞の記録 ・授業観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・音楽活動に親しみながら、自ら進んで、また友達と協力して音楽学習に取り組もうとしている。 ・楽曲を完成させるために粘り強く取り組もうとしている。	・授業観察(活動の様子) ・忘れ物・提出物・発表 ・実技テスト

授業の受け方	・授業準備物を忘れないようにする。正しい服装で参加する。 ・話をよく聞き、授業に集中して参加する。 ・失敗や間違いを恐れずに素直な心で思いっきり表現する。
--------	---

3年	音楽
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	オリエンテーション 発声練習	・授業の約束事を再確認する ・腹筋・呼吸の仕方を学ぶ。 「花」	・先生の話をしっかりきける。 ・忘れ物をしない。 ・正しい服装で受けることができる。
	5	鑑賞	「ブルタバ」	・オーケストラの響きを味わいながら、作曲者の思いを感じ取ることができる。
	6	合唱	「きみとともに」 実技テスト	・混声三部合唱の技能を高め表現力を身に付けることができる。
	7	クラスの歌声をつくろう	パート分け、パート練習のスタート	・パート練習を主体的に取り組むことができる。 ・パートの音程を確実に取ることができる。
2	9	合唱の喜び	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲	・パート練習を主体的に取り組むことができる ・曲想や歌詞の意味を考えながら曲を作る過程を大切にすることができる。
	10	合唱の喜び 合唱コンクールをふり返って	合唱コンクール課題曲 合唱コンクール自由曲 実技テスト	・パート練習を主体的に取り組むことができる。 ・曲想や歌詞の意味を考えながら曲を作る過程を大切にすることができる。 ・歌うことを通して自分を表現することができる。
	11	鑑賞	「ボレロ」	・心落ち着けて名曲を鑑賞することができる。 ・楽器それぞれの特徴をつかむことができる。
	12	鑑賞	「早春賦」	・歌詞が表す情景や心情を思い浮かべることができる。 ・曲想を味わいながら表現の工夫して歌うことができる。
3	1	心を込めて歌おう	卒業式に向けて ・校歌 ・君が代 ・式歌	・自分たちでパート練習の内容を考えて音取りができるようにする。
	2	心を込めて歌おう	卒業式に向けて ・校歌 ・君が代 ・式歌	・歌詞に込められた想いと卒業に向けての自分たちの想いを重ねて心をこめて歌うことができる。
	3			

教科名	学年	週時間数
美術	3	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「美術２・３」 光村図書
副教材	「新レタリング・ポスターの資料」 正進社 美術資料「感じる 表す 美術」 浜島書店

指導の重点	「感じ取ったことや考えたことなどを基にした表現」 「目的や機能などを考えた表現」 「作品や美術文化などの鑑賞」 「色彩学習」共通項目
教科のねらい	・美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を想像していく意欲と態度を育てる。 ・対象を見つめ感じ取る力や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や形や色彩などによる表現の技能を身につけ、意図に応じて創意工夫し美しく表現する能力を育てる。 ・自然の造形や美術作品などについての基礎的な理解や見方を広げ、美術文化に対する関心を高め、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を育てる。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・美術の表現や鑑賞の活動の中で働き、活用されるような造形的な視点を豊かにするために必要な知識を身につけることができる。 ・材料や用具の特徴を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表すことができる。 ・材料や用具、表現方法の特徴などから制作の順序などを考えながら、見通しをもって表すことができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点② 思考・判断・表現	・自分の感性を生かし、アイデアを膨らませ、自分の思いを形にすることができる。 ・友人や作家のさまざまな作品を鑑賞し合い、良さをお互いに尊重し、自分の思いや考えを自分の言葉でまとめることができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート等の内容、制作態度全般、定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組むことができる。 ・自ら問いや課題を発見し、習得した知識や技能などを活用しながら、問題を解決しようと考えることができる。	授業の様子、作品・アイデアスケッチ・ワークシート・感想文等の内容、制作態度全般、定期テスト

授業の受け方	・授業に意欲的、積極的に参加し、つくることの楽しさを実感できるようにしましょう。 ・チャイム着席、制作の準備・後片付けにしっかり取り組みましょう。 ・授業中は私語を慎み、自分のイメージをしっかりと持って制作に励みましょう。 ・世界にたった一人しかいない自分の発想や作品のすばらしさに気付き、そこから芸術作品を尊重する気持ちを持ちましょう。 ・提出物は期日を守って必ず提出しましょう。
--------	---

3年	美術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	オリエンテーション 色彩学習の取り組み方 鑑賞	美術の楽しみ、授業の形態、留意事項の説明。 色彩学習のファイルの使い方 "作者の考えや、作品に対する思いを知り、作品に触れる。"	授業を受ける姿勢、態度を身に付ける。 UDで色彩を学ぶ方法を知る。 作者の考えや作品に対する思いを理解することができる。
	5	自分を見つめて 伊勢型紙 郷土の伝統工芸品	ピクトグラムや家紋などを学び自分の紋を考える。生活に使うものに紋をいれて制作する。	地域の伝統工芸をを理解し、作品に生かすことができる。 自分を見つめて表現することができる。
	6	修学旅行の思い出を絵手紙に描こう。ユニバーサルデザインを探そう	墨の濃淡や技法を活用し、修学旅行の感動を絵手紙に制作する。都市や鉄道など公共機関でのユニバーサルデザインを探し効果を確かめていく。多くの人が使いやすい形やデザインを体験し鑑賞する。	いくつもの水墨画の技法の中から、テーマや描く対象に合った技法を選び表現することができる。生活者としての目線でユニバーサルデザインを理解することができるデザインを分析することができる。 デザインの機能美を理解することができる
	7	メッセージを伝える ビジュアルデザイン 本物を見よう	多くの人にメッセージが伝わるようにポスターのアイデアを考える。 三重県立美術館の作品を鑑賞してプレゼンテーション	多くの人に訴えたいことが伝わるアイデア豊かなポスターが描ける。 本物を鑑賞してその魅力を多くの人に発表できる。
2	9	自分を見つめて 立体	中学3年生の今を立体で表現する。リアルな手の制作を行う。	自分の内面を表現する手のポーズや表現の工夫ができる。
	10	自分を見つめて 平面	中学3年生の今を自画像に表現する 友達の考えや、作品に対する思いを知り、作品に触れる。	自分の内面や今の自分から将来の自分をテーマに表現できる。自画像の意味を理解して制作することができる。 友達の考えや作品に対する思いを理解することができる。
	11	ゲルニカはどこから来てどこへいくのか	ゲルニカ誕生の背景を知りピカソの表現や産業革命後の美術を考える。	ゲルニカを鑑賞し、作品が作られた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を理解することができる。
	12	海を越えた文化交流	日本の美術は、諸外国の美術を取り入れながら、独自の文化を発展させてきた。海を越えた文化の交流について鑑賞をする。	美術史年表を活用しながら日本美術史を理解することができる。
3	1	美術からつながる仕事	「美術」が将来どのような場面でいかせるのか、美術と社会のかかわりについて考える。	生活の中でデザインや色彩がいかに重要かどんなふう に生かしているか探すことができる。
	2	色彩学習	色彩の学習を生かした仕事をする	色彩を生活や仕事で活かすことができる。
	3	3年間を振り返っての作品 鑑賞	最後の美術の授業となる人もいる。義務教育での最後の美術の鑑賞を行う	美術史を振り返り人間と表現の関係を考えることができる。 デザインの意味を考えることができる。

教科名	学年	週時間数
保健体育	3	3

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「新中学保健体育」(学研)
副教材	「図解中学体育」(暁教育図書) 「学習の達成」(新学社)

指導の重点	知識・技能 主体的に学習に取り組む態度
教科のねらい	・各種の運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 ・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。 ・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法及び運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	授業観察 学習カード 定期テスト 実技テスト
観点② 思考・判断・表現	運動を豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	授業観察 学習カード 定期テスト
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に自主的に取り組もうとしている。	授業観察 学習カード

授業の受け方	・授業時間を守る。 ・先生の指示をしっかりと見て、聞いて理解する。 ・自分の力を精一杯発揮し、運動を楽しむ。 ・課題を解決するために仲間と協力して取り組む。 ・道具・施設を大切にする。ルールやマナーを守り、安全に活動する。 ・目標をもって、自主的に活動する。
--------	--

3年	保健体育
----	------

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	集団行動 体力テスト	集団行動 体力テスト	・姿勢、方向転換、集合、点呼を学校生活の場で活用する。 ・体力の測定方法や測定結果を知り、昨年度の記録を上回ろうとする。 ・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づいたり、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・技能の向上や自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。
	5	【選択種目1】	体ほぐしの運動	
	6	器械運動、陸上競技	跳び箱運動 走り高跳び	
	7	体育理論	文化としてのスポーツの意義	
2	9	体づくり運動	体ほぐしの運動 実生活に生かす運動の計画	・心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気づいたり、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・自己の健康や体力の実態と実生活に応じて運動の計画を立てて取り組もうとする。 ・相手の動きの変化に応じた得意技で攻防を展開し、課題に応じた練習を工夫して取り組むことができる。 ・安定したバット操作と連携した守備で攻防を展開し、チームの課題に応じた作戦や練習を工夫して取り組むことができる。 ・作戦を生かした攻防を展開してゲームを楽しむことができる。 ・みんなで踊る楽しさや喜びを味わい、イメージを捉えた表現や踊りで交流する。 ・自己記録の向上を目指し、練習や競技を行おうとする。 ・文化としてのスポーツの意義について理解できるようにする。
	10	【選択種目2】 武道、球技	剣道 ソフトボール ソフトテニス	
	11	【選択種目3】 ダンス、陸上競技	現代的なリズムのダンス 長距離走	
	12	体育理論	文化としてのスポーツの意義	
3	1	【選択種目4】 球技	卓球、バドミントン サッカー	・自分たちで練習計画を立て、技能の向上を目指し、仲間と連携し、ゲームを楽しみ、練習や競技を行おうとする。
	2			
	3			

教科名	学年	週時間数
技術	3	0.5

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	「明日を創造する 技術・家庭技術分野」教育図書
副教材	

指導の重点	・技術（Technology）を活用した問題解決に関する知識・技能、思考力・判断力・表現力 ・知識・技能、思考力・判断力・表現力を身につけるために主体的に試行錯誤する態度
教科のねらい	下記の活動を通して、技術の見方・考え方をいかして、技術的に問題を解決するための知識、技能や思考力・判断力・表現力を身につける ・技術に関する原理や法則、基礎的な技術の仕組みを理解する ・生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定する ・解決方策が最適なものとなるよう設計・計画し、製作・制作・育成を行う ・解決方策の結果や解決過程を評価、改善する

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・技術の原理や法則に関する内容の知識、技能 (例) コンピュータの原理や法則	・小テスト、定期テスト、ワークシートなど ・技能テスト、製作物、製図など
観点② 思考・判断・表現	・問題を解決するための設計・計画のための思考・判断・表現 (例) 問題を解決するための根拠をもった設計図	・ワークシート、設計図、解決策の評価、レポート ・協同的な問題解決場面における対話的な活動の観察
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・試行錯誤しながら、問題解決に向けて考えようとする態度 ・問題解決に向けて、自己の考えの振り返りと改善	・知識や技能を身につけるため活動の観察 ・ワークシートや設計図、レポート等に関する試行錯誤

授業の受け方	・問題解決に向けて、自分の考えをもつとともに、他の人の考えを尊重し、よりよい解決方法を考えましょう。 ・コンピュータの利用については、情報収集や利用については情報モラルを守り、正しく使いましょう。
--------	---

3年	技術
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	・画像認識技術を活用した情報の技術	コンピュータの基本原理と法則について	・コンピュータの基本原理となる2進数などについて知る
	5	・画像認識技術を活用した情報の技術	プログラミングの基本について	・プログラミングの基礎となる順次、反復、分岐処理について知る
	6	・画像認識技術を活用した情報の技術	画像認識技術に関するプログラミングについて基礎的な活用を行う	・画像認識技術に関するプログラミングを作成し、問題解決を行う。
	7	・画像認識技術を活用した情報の技術	画像認識技術に関するプログラミングについて基礎的な活用を行う	・画像認識技術に関するプログラミングを作成し、問題解決を行う。
2	9	・画像認識技術を活用した情報の技術	画像認識技術に関するプログラミングについて基礎的な活用を行う	・画像認識技術に関するプログラミングを作成し、問題解決を行う。
	10	・画像認識技術を活用した情報の技術	画像認識技術に関するプログラミングについて応用的な活用を行う	・画像認識技術に関するプログラミングを作成し、問題解決を行う。
	11	・画像認識技術を活用した情報の技術	画像認識技術に関するプログラミングについて応用的な活用を行う	・画像認識技術に関するプログラミングを作成し、問題解決を行う。
	12	・画像認識技術を活用した情報の技術	画像認識技術に関するプログラミングについて応用的な活用を行う	・画像認識技術に関するプログラミングを作成し、問題解決を行う。
3	1	・社会の問題を技術的に解決する方法を考える	社会の問題を取り上げ、課題を設定して解決方法を構想、設計、製作する	・これまで学習してきた様々な内容を総合的に活用した問題解決ができる
	2	・社会の問題を技術的に解決する方法を考える	社会の問題を取り上げ、課題を設定して解決方法を構想、設計、製作する	・これまで学習してきた様々な内容を総合的に活用した問題解決ができる
	3	・社会の問題を技術的に解決する方法を考える	社会の問題を取り上げ、課題を設定して解決方法を構想、設計、製作する	・これまで学習してきた様々な内容を総合的に活用した問題解決ができる

教科名	学年	週時間数
家庭	3	0.5

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	New技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する（教育図書）
副教材	新家庭科総合資料(正進社)

指導の重点	自分の身の回りの生活への関心、生活を豊かにするための工夫、生活にかかわる基本的な技能
教科のねらい	○衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得することにより、生活の自立を目指す。 ○自分の家庭を取り巻く社会や環境に関心を持ち、生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度を育成する。

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	自分の身の回りの衣食住などの生活について理解し、基礎的・基本的な知識や技術を身に付けている。グループ活動では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。実習では、安全面に配慮しながら作業に取り組むことができる。	テスト 提出物 実習の様子（取り組み方） 作品（完成度）
観点② 思考・判断・表現	自分の身の回りの生活をよりよくするための工夫について考えている。作品に、自分らしさを表現できている。課題について調べた事柄を工夫してまとめている。	授業の様子（発言の内容） 提出物 作品（工夫・表現） 授業プリント
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	話をしっかり聞き、自分なりの意見を持ち、発表ができる。授業プリントやワークシートなどを丁寧にまとめることができる。授業に必要な持ち物を忘れずに準備し、提出物の期限を守れている。グループ活動や実習では、仲間を思いやり、協力して作業を進めることができる。	授業の様子（発言・活動・態度） 実習の様子（取り組み方） 準備物 提出物 授業プリント

授業の受け方	・自分の日常生活に関心を持ち、課題を解決していくための手だてを考えよう。 ・授業や課題には集中して取り組み、実習では安全面に配慮して取り組もう。 ・学んだことは、必ず自分の生活に役立てていこう。 ・持ち物などの忘れ物をしないようにしよう。 ・提出物は期限を守ろう。
--------	--

3年	家庭
----	----

学習年間計画

学期	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	4	B編 衣食住の生活 6章 私たちの住生活	住まいの働きを知ろう	・住まいの基本的な働きを理解する。
	5	6章 私たちの住生活	住まいの働きを知ろう 家族が暮らしやすい住まい方を考えよう	・生活行為と住まいの空間の関係について考える。 ・家族にはそれぞれ住まい方への思いや願いがあることに気づく。 ・家族が気持ちよく住もうための工夫を考える。
	6	6章 私たちの住生活	健康を守る室内環境の整え方を考えよう	・室内の空気を清潔に保つ必要があることを理解する。 ・健康を守る室内環境の整え方を考える。
	7	6章 私たちの住生活	家庭内事故から家族を守ろう	・住まいの中には危険がたくさんあることを理解する。 ・家庭内事故を防ぐための工夫や対策を考える。
2	9	6章 私たちの住生活	災害に備えた安全な住まい方を考えよう	・自然災害に備えた安全な住まいの整え方を理解する。 ・自然災害への備え・対策を考える。
	10	C編 消費生活・環境 1章 私たちの消費生活	買い物を振り返ってみよう 買い物の法的な意味を考えよう	・消費者としての自覚を持つ。 ・意思決定のプロセスにそって、商品購入を考えることができる。 ・契約とは何かを理解する。 ・契約によって発生する権利と義務を理解する。
	11	1章 私たちの消費生活	いろいろな販売方法や支払い方法を知ろう	・いろいろな販売方法や支払い方法の特徴について理解する。
	12	1章 私たちの消費生活	消費者トラブルを防ごう 消費者を支える仕組みを知ろう	・事業者と消費者には情報量や交渉力に格差があることを理解する。 ・中学生に身近な消費者トラブルについて理解する。 ・消費者を守る法律や制度を理解する。 ・消費者トラブルの解決方法と解決のための行動の意味を理解する。
3	1	2章 消費者の権利と責任	消費者の権利について考えよう 消費者の責任について考えよう	・消費者の権利を理解する。 ・生活の中で消費者の権利が果たす役割について考える。 ・消費者の責任を理解する。 ・消費者の権利と責任のかかわりを理解する。
	2	2章 消費者の権利と責任	消費生活が社会に与える影響を考えよう 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	・自分や家族の消費生活が社会に与える影響について理解する。 ・自分や家族にできることを考え、行動できる。
	3	2章 消費者の権利と責任	消費生活が社会に与える影響を考えよう 環境に及ぼす影響を考えて行動しよう	・自分や家族の消費生活が社会に与える影響について理解する。 ・自分や家族にできることを考え、行動できる。

教科名	学年	週時間数
英語	3	4

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	NEW HORIZON English Course 3 (東京書籍)
副教材	EIGO NO PARTNER 3 (正進社) 積み上げ (明治図書) NEW LISTENING PLUS ニュー・リスニング・プラス (正進社)

指導の重点	学ぶ意欲 表現力 言語活動
教科のねらい	1. 社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができる。【聞くこと】 2. 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができる。【読むこと】 3. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて述べ合うことができる。【話すこと（やり取り）】 4. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分で作成したメモなどを活用しながら口頭で要約したり、自分の考えや気持ちなどを話したりすることができる。【話すこと（発表）】 5. 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことから把握した内容に基づき、自分の考えや気持ち、その理由などを書くことができる。【書くこと】

観点別評価項目	具体的な内容	評価場面 評価方法
観点① 知識・技能	・英語の特徴やきまりに関する事柄を理解している ・「話すこと」「聞くこと」において、事実や考え、気持ちなどを表現したり、伝え合ったりする技能を身につけている ・「聞くこと」「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章などを聞いたり読んだりしながら、その内容を捉える技能を身につけている	定期テスト トークタイムテスト パフォーマンス課題 単語テスト 単元テスト
観点② 思考・判断・表現	・「聞くこと」「読むこと」において、話されたり書かれたりする文章などを聞いたり読んだりしながら、場面や状況に応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている ・自身のことや社会的な話題について、自身の考えを持ち、書いたり話したりしながら伝えることができる	定期テスト トークタイムテスト パフォーマンス課題 ワークシートにおける英作文 発表内容
観点③ 主体的に学習に取り組む態度	・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている ・「知識・技能」「思考・判断・表現」を身につけるために、学校教材等を用いて自身の英語力を育もうとしている ・授業内外で「どうして？」と疑問に思う点を持つように意識しながら、自身が2年生まで培ってきた英語力をより成長させようとしている	トークタイムテスト パフォーマンステスト 毎回の授業に対する姿勢・貢献 提出物の成果 ふりかえり（ツギツナ！）

授業の受け方	・指示や説明、クラスメイトの発表をしっかりと聞くようにしよう ・間違いを恐れず、積極的に英語を使ってコミュニケーションを取ろう ・ペアやグループなど様々な形で多くの人と協力し、学びあう雰囲気をつくろう ・わからないところや気になることがあれば、先生や友だちに質問して解決しよう ・自分が取り組んだことを振り返り、学びにつなげるよう ・その日学習したことを、家庭で副教材等を使って復習し、定着を図ろう
--------	--

3年	英語
----	----

学習年間計画

学期	考查	月	単元	学習内容	単元のねらい
1	中間	4・5	・ Unit 0 ・ Unit 1	受け身 現在完了形（経験用法） SVOC（C=形容詞） SVOO（that節）	・ これまでに学んだことを使って、世界で話されている言語について書かれたレポートの情報を読み取ったり、行ってみたい国とそこで話されている言語について伝え合ったり書いたりすることができる。 ・ これまでに経験したことにもとづいて、相手に合ったプランを伝えることができる。
		6	・ Real Life English 1 ・ Unit 2 ・ Let's Talk 1 ・ Grammar for Communication 1	現在完了形（完了用法） 現在完了形（継続用法） 現在完了進行形 Welcome to We've been looking forward to	・ 気持ちを伝えるために、表現方法を工夫しながらファンレターを書くことができる。 ・ ディスカッションを聞き、自分の意見を考えるのに必要な情報を理解することができる。 ・ ずっと好きなことや、これまで取り組んできたことについて伝え合うことができる。 ・ 初対面の相手に配慮しながら、歓迎する気持ちを伝えることができる。
	中間	7	・ Real Life English 2 ・ Unit 3 ・ Real Life English 3 ・ Grammar for Communication 2 ・ Stage Activity 1 ・ Let's Read 1	It is ... (for+ (人など)) + to want+ (人など) + to let [help]+ (人など) + 動詞の原形	・ 社会的な話題に関する講演を聞き、話し手の伝えたい内容を理解することができる。 ・ 自分の意見や考えを加えて記事を書くことができる。 ・ 社会的な話題について、理由や根拠を含めて自分の意見を書くことができる。
2	期末	9	・ Unit 4 ・ Real Life English 4 ・ Learning Art in English	間接疑問文 SVOO（what節） 現在分詞 過去分詞	・ 災害情報を聞き、どう行動すればよいかを理解することができる。 ・ 標識が何を意味しているかを説明することができる。 ・ 相手の立場に立って、具体的な提案をしながら申し出たり応じたりすることができる。 ・ ニュースなどのテレビ番組の音声聞いて、概要や要点を理解することができる。
		10	・ Unit 5 ・ Real Life English 5 ・ Grammar for Communication 3 ・ Stage Activity 2	名詞を修飾する文（接触節） 関係代名詞who 関係代名詞that [which]（主格・目的格） 後置修飾	・ 人やものについて詳しい情報を加えて説明することができる ・ 資料から読み取った情報について、事実と意見をわけて書くことができる。 ・ 日本や郷土の文化などを紹介する文を、詳しい情報を加えながら書くことができる。
		11	・ Unit 6 ・ Real Life English 6 ・ Grammar for Communication 4	SVOO（what節） 仮定法（I wish I could [had]） 仮定法（If+主語+were ..., ～.） 仮定法（If+主語+動詞の過去形,） 主語を説明する関係代名詞	・ 人物の経歴を聞いて、概要を理解することができる。 ・ 架空の状況について説明したり、感想や意見を述べたりすることができる。 ・ 相手の意見を受けて自分の主張を述べることができる。 ・ スピーチを聞いて、話の概要を理解することができる。
	学年末	12	・ Stage Activity 3 ・ 入試対策演習	Word Room（ディベートで使える表現、ディベートの論題） 私立高校対策	・ 主張とその理由を明確にしながら、ディベートをすることができる。
3	学年末	1	・ Let's Read 2 ・ 入試対策演習	既習事項の総復習 県立高校対策	・ エネルギー問題に関する説明文を読んで、概要を理解し、自分の考えや意見を述べるすることができる。
		2	・ Let's Read 3 ・ 入試対策演習	県立高校対策 次へのステップ（これからの英語学習）	・ スピーチの原稿を読んで、内容の要点を理解し、自分の言葉で伝えることができる。
		3			

教科名	学年	週時間数
道徳	3	1

シラバス 2026

鈴鹿市立天栄中学校

教科書	中学道徳あすを生きる 1（日本文教出版）
副教材	

指導の重点	・望ましい生活習慣を身につけるとともに、社会や集団行動のルールを守り、自主的・自立的な行動ができる。 ・生徒一人ひとりがより深く知り合い、いたわり励ましあう関係づくりを行う。 ・自ら進んで奉仕する態度を養う。 ・身のまわりや社会にある差別や偏見に気づき、仲間とともに解決していこうとする姿勢をもつことができる。
教科のねらい	人間としての生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養う。

	評価場面 評価方法
・数値による評価ではなく、記述式とする。 ・個々の内容項目ごとではなく、大きくりなまとまりを踏まえたものとする。 ・他の生徒との比較による評価ではなく、生徒がいかに成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価とする。 ・道徳科の学習活動における生徒の具体的な取り組み状況を一定のまとまりの中で見取ること。 ・学習活動において生徒がより多面的多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身とのかかわりの中で深めているかといった点を重視する。	・授業観察（発表、態度等） ・グループ活動（発表、態度等） ・ワークシート

授業の受け方	・自分の想いをワークシートに書けるようにする。 ・人の発表や発言はしっかりと聞き、自分の考えをはっきりと言えるようにする。 ・話し合いを通して、自分の想いや考えを深め、それをまとめることができる。
--------	--

3年	道徳
----	----

学習年間計画

通算 (回)	月	内容項目		資料・教材名	ねらい
1	4	D-(22)	よりよく生きる喜び	風に立つライオン	内なる弱さと向き合い、それを克服することで生きることの喜びを見出そうとする実践意欲を育てる。
A-(4)		希望と勇氣、克己と強い意志	銀メダルから得たもの	より高い目標を設定し、その実現のために努力や希望・勇氣の必要性を理解するとともに、困難や失敗を乗り越えてやり遂げようとする実践意欲を高める。	
B-(7)		礼儀	出迎え三步、見送り七歩	礼儀は形と心が溶け合ったものであることを理解し、相手に対する敬愛の念を態度で示そうとする実践意欲を育てる。	
4	5	C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	昔と今を結ぶ糸	日本人としての自覚を深め、受け継がれてきた歴史や伝統文化の素晴らしさを理解し、発展させようとする態度を培う。
5		C-(11)	公正、公平、社会正義	卒業文集最後の二行	いじめがいかに非情であるかを理解し、差別や偏見を見抜いて、人間として許されないことを許さない態度を育てる。
6		B-(8)	友情、信頼	体育祭リレーメッセージ	体育祭のクラス全員リレーにおいて、互いの気持ちや意気込みを共有することを通して、他への思いやりの心や相互に協力し合おうとする実践意欲を育てる。
7		C-(18)	国際理解、国際貢献	命のトランジットピザ	国際的視野に立ち、人類愛について理解を深め、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情や態度を育てる。
8	6	D-(19)	生命の尊さ	エリカ　ー奇跡のいのちー	生きていることの奇跡と尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重しようとする態度を養う。
9		A-(1)	自主、自律、自由と責任	私も高校生	主体的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことを誠実に実行し、その結果に責任をもとうとする態度を育てる。
10		C-(13)	勤労	あるレジ打ちの女性	主人公の女性の変容を知ることによって、自分の考え次第で仕事から喜びが得られることを理解し、働くことの素晴らしさについて学ぼうとする実践意欲を深める。
11		D-(22)	よりよく生きる喜び	子どもの権利条約	すべての子どもには自分らしく生きる権利があるということを知り、それらが侵されることのないよう、積極的に行動しようとする態度を育てる。
12	7	C-(11)	公正、公平、社会正義	人権作文	身近な人権問題について考え、問題に対する自分の考えを表現することとおして、すべての人間が安心して自分らしく生きることができる社会を実現しようとする態度を育てる。
13		C-(12)	社会参画、公共の精神	No Charity, but a Chance!	自分たちが生活する社会に自ら進んで参画し、よりよい共生社会を実現していこうとする実践意欲を育てる。
14		A-(3)	向上心、個性の伸長	新しい夏のはじまり	自己を見つめ、これまでの自分を冷静かつ客観的に振り返るとともに、経験を生かして自分らしく新しい生き方をしようとする態度を育てる。
15	9	C-(16)	郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度	「稲むらの火」余話	郷土のために尽くした先人の生き方を理解し、自らも地域社会の一員であるという帰属意識をもって郷土に貢献しようとする意欲を育てる。
16		B-(9)	相互理解、寛容	言葉の向こうに	それぞれの立場を尊重し、いろいろなものの見方や考え方があることを理解して、寛容の心をもとうとする態度を育てる。
17	10	C-(10)	遵法精神、公德心	二通の手紙	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、規律ある社会の実現に努めようとする態度を育てる。
18		A-(2)	節度、節制	独りを慎む	望ましい生活習慣を身につけ、充実した人生を送るために、節度を守り節制に心がけ、調和のある生活を自ら実践しようとする態度を養う。
19		B-(6)	思いやり、感謝	電車の中で	他者の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ますことの大切さを理解し、思いやりの心をもって人に接しようとする実践意欲と態度を養う。
20		C-(12)	社会参画、公共の精神	自分・相手・周りの人	公共の場での心構えを理解し、1人ひとりが協力して、誰もが安心して生活できる社会をつくっていこうとする意欲を育てる。
21		C-(13)	勤労	失った笑顔を取り戻す	働くことによって社会や他社の生き方を支えるという仕事の意義を理解し、社会に貢献する生き方をしようとする意欲を高める。
22	11	D-(20)	自然愛護	「川端」のある暮らし	人間は自然の中で生かされていることを自覚し、自然環境を大切にするとともに、自分のできる範囲で自然愛護に努めようとする態度を育てる。
23		D-(21)	感動、畏敬の念	風景開眼	自然の神秘に感動し、人間の力を超えたものへの畏敬の念を深めようとする心情を育てる。
24		D-(19)	生命の尊さ	臓器ドナー	臓器提供という現代的な課題を通して、生命の尊さを深く理解し、自他の生命をかけがえのないものとして尊重する態度を育てる。
25	12	A-(5)	真理の探究、創造	i p s細胞で難病を治したい	よりよく生きるために、真実を大切にし、真理を探究して新しいものを生み出そうとする実践意欲を育てる。
26		C-(17)	我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度	父は能楽師	先人の残した有形無形の文化遺産の中に優れたものを見出し、それを生み出してきた精神に学んで、継承し発展させようとする心情を養う。
27		C-(18)	国際理解、国際貢献	本とペンで世界を変えよう	国際的視野に立って、世界の平和と人類の幸福に貢献しようとする心情を育てる。
28	1	B-(6)	思いやり、感謝	塩むすび	家族などの支えや多くの人々の善意により日々の生活や自分があることに感謝し、進んで周囲の思いに応えようとする態度を育てる。
29		A-(1)	自主、自律、自由と責任	町内会デビュー	自主的に考え、自らを律し、自分の決めたことを実行していこうとする判断力を養う。
30	2	C-(14)	家族愛、家庭生活の充実	一冊のノート	祖母の苦悩や不安、家族への思いに気付く主人公の姿を通して、家族への敬愛を深め、家族の一員としての役割を果たそうとする心情を養う。
31		C-(12)	社会参画、公共の精神	サトシの一票	社会の一員としての権利を積極的に理解し、主体的に社会に参画することで、よりよい社会の実現に寄与しようとする態度を養う。
32		B-(8)	友情、信頼	卒業メッセージ	在校生にメッセージを伝えることを通して、仲間に対する感謝の心や、伝統・文化を大切に引き継いでいこうとする態度を育てる。

33	C-(10)	遵法精神, 公徳心	ワンス・アポン・ア・タイム・イン・ジャパン	法やきまりの意義を理解し, それらを進んで守ることにより, 規律ある社会の実現に努めようとする態度を育成する。
34	C-(15)	よりよい学校生活, 集団生活の充実	お別れ会	自分の学校に対する愛着を深め, 協力して校風を継承し, 発展させようとする態度を育てる。
35	D-(19)	生命の尊さ	希望	生命の重さを, その連続性や有限性なども含めて理解するとともに, かけがえのない自他の生命を尊重しようとする意欲を高める。